

歯科衛生士はこんな活動をしています！

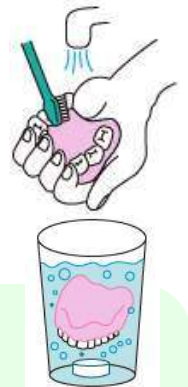
全介助の患者様や口腔衛生指導の必要な患者様に
看護師等の依頼で介入をしています。口腔清掃のみでなく、
口腔周囲筋のマッサージなども行っています。



さて、皆さん入院中の患者様の義歯管理はどうしていますか？

装着したまま・・・。 外したまま・・・。 そんな事は無いですよね？

装着したまま過ごすと、口腔内に細菌が増殖し、口腔カンジダ症や
誤嚥性肺炎などが発生しやすくなります。逆に外したままだと、
顎堤の萎縮や残存歯の位置がずれる事により義歯の適合が悪くなります。
また、水に浸さず保管した義歯も材質の特徴により収縮してしまいます。



- ①食後に義歯を洗いましょう。
 - ②日中はできるだけ義歯を装着しましょう。
 - ③夕食後(就寝前)は、義歯用ブラシ(歯ブラシ)を使用し流水下で洗浄します。
その後、義歯洗浄剤または水に浸しておきます。
 - ④翌朝、義歯を装着します。
- ※義歯洗浄剤をしようした場合は、流水で義歯を水洗してから 使用してください。

目の前の患者様の義歯は今どのような状態ですか？一度確認してみてください。
正しい義歯管理でおいしくご飯を食べていただけるよう援助していきましょう。



第8回 岐阜南NST研究会報告 2011.9.28



北中城若松病院内科 吉田貞夫先生に『静脈栄養からPEG,経口摂取へ』をテーマに
ご講演頂きました。112名(院外43名、院内69名)の参加があり、栄養ケアのトラブル
対策と半固形化栄養の有用性について学びました。

第5回 NST勉強会報告 2011.10.5

一半固形化栄養剤
短時間注入法について

吉田先生の講演後、半固形化栄養剤についての知識を深める為、勉強会を実施しました。
胃の生理的な運動と消化機能を発揮し、合併症を予防するためには、胃が十分に拡張する
十分な量(300~600ml)を短時間(5~15分)で注入することがポイントです。

有用な症例

- ・リハビリ時間確保など注入時間を短縮したい
- ・誤嚥や嘔吐を繰り返す
- ・吸収障害を伴わない下痢を繰り返す
- ・ろう孔への漏れがある



次回:第6回院内NST勉強会【胃ろうの管理とケア】 11月2日(水)17時 3階講堂